

各種お知らせ

学生部

大学祭

10月22日～23日に、対面での大学祭を実施することができました。2020年、2021年はオンラインで行い、3年ぶりの開催となりました。学友会を中心に大学祭実行委員会を立ち上げ、4年生の協力の下、協議を重ね短期間での準備となりましたが事前登録や当日受付を設け感染対策をとった上で一般の方にもご来場いただきました。

多国籍ファッションショーや、カラオケ、ダンス、プロジェクト発表や吉本芸人お笑いステージなど、会場ではたくさんの笑顔がみられました。来年度は、屋台の復活を目指します。



MICチャレンジプロジェクト

今年度前期に発足したMICチャレンジプロジェクトの最終発表会が2月17日（金）に行われ、最終活動報告がなされました。4つのプロジェクト(下記参照)が各々で活動をしてきましたが、発表会では、その成果を存分に発表してもらいました。

- 土呂久に集まれ（高千穂町土呂久地区鉱山跡地を公園化）
 - SDG's×Kiyotake（SDG's達成）
 - 畑 自然体験プロジェクト（畑づくり）
 - ホドリホリデー（海のごみをリメイク）
- また、最優秀学長賞、優秀賞、奨励賞の授与を行いました。



女子サッカー

本学に念願の女子サッカーサークルが立ち上がりました。現在、1年生の佐藤実季さん、佐藤実里さんを中心に火曜、木曜にグラウンドで練習をしています。学校法人宮崎学園では、テゲバジャーロ宮崎やヴィアマテラス宮崎と包括連携協定を締結しており、最近までヴィアマテラス宮崎の練習にも参加していた実力のある2人です。今後は高校生の受け皿になるべく大学女子サッカー部を目指しますが、未経験者も大歓迎です。



宮崎学園図書館

「令和4年度多読賞」 令和5年2月1日（水）発表

受賞者の皆さん、おめでとうございます。 ※貸出冊数上位者(漫画除く)

教育学部			国際教養学部			
1位	4年	前田 海希さん	97冊	1位	4年 福永 彩さん	148冊
2位	2年	吉永 朋持佳さん	95冊	2位	1年 日高 七海さん	118冊
3位	3年	落合 祐希さん	94冊	3位	1年 大山 凜さん	106冊
3位	2年	牛ノ濱 由貴さん	94冊	4位	3年 長澤 百花さん	93冊
5位	2年	石崎 結大さん	72冊	5位	3年 寺崎 奈美さん	62冊

「令和4年度 宮崎学園図書館 利用・満足度アンケート調査」実施

アンケートを令和4年10月17日（月）～11月18日（金）に実施し、学生・教職員全体の45%からの回答を得られ、学生の回収率は52%でした。結果は、「満足」の回答が、各項目（施設設備・蔵書・館員）平均98.6%と高評価をいただくことができました。アンケート調査にご協力いただいた、学生・教職員の皆様には深く感謝申し上げます。今回の調査により、図書館運営について多くの振り返りを行うことができました。今後も図書館は、ラーニング・コモンズ（人の集い、学びへの誘い、学びを促し、発信）の実現に向けて、資料の充実、貸出サービスのみならず、施設設備・環境の改善による、より一層の快適な学習・研究空間を実現できるきよう努めてまいります。

教務部（重要）

【国際教養学部】

■新4年生へ
卒業要件：124単位以上、GPA1.50以上
卒業論文：勝手に進めず担当教員と十分に相談してください。盗用した文章のある論文、未完成の論文の提出は一切認められませんので留意してください。（発覚した場合、点数を取り消します）

■進級等要件：2021年度以前の入学生<2年次(18単位以上)、海外研修(36単位以上)、3年次(52単位以上・TOEIC 500点以上)、4年次(87単位以上)

■教育実習：教職課程を履修している学生の教育実習参加基準はTOEIC600点以上です。3年次後期までの全ての教職課程科目を修得していることが必要となります。

【教育学部】

■新4年生へ
卒業論文：卒業論文登録要件の一つに、各学期のGPA平均値が1.50以上とあります。毎学期、確認しましょう。
教員採用試験：教員採用試験受験日が近づいています。目標達成に向けてしっかり勉強してください。

【両学部】

■履修登録：大学から事前に履修登録についてEメールで案内しますので、必ず確認してください。履修登録は3月下旬を予定しています。

■修得単位数の確認：入学年度の学生便覧、履修カルテ（教育学部）を活用し、進級・卒業要件や免許状及び資格取得要件の必要単位数を満たしているか毎学期確認し、各自、計画的に履修してください。

■TOEIC IP：TOEIC IPを受験する機会を下記のとおり予定しています。詳細はメールで案内します。

4月3日（月）＊ 新入生、2021年度以前入学者で進級要件を満たしていない学生向けです。新入生は無料で受験できます。

4月21日（金）＊ 新3年生向け。新3年生は無料で受験できます。

前期学費の納入について

前期学費の納入期限は4月10日(金)です。学費振込依頼書は 保護者様宛てに送付いたしますので、期限までに納入をお願いします。期限までの納入が困難な場合は、総務部会計課へご相談のうえ、納入期限までに「学費延納願」をご提出ください。

駐車場使用申込について

Googleフォームを添付したメールを配信しておりますので、詳しくはそちらを確認してお申込みください。

宮崎国際大学

在学生・保護者向けニュースレター



MIC通信

2022年度後期

Newsletter for MIC students and parents

March, 2023

学長あいさつ

昨年のMIC通信でもコロナ感染症に触れましたが、まだまだ感染者数も死者数も記録が更新されており、新たな変異株BBX1.5の流行も懸念されています。その中で、様々な規制緩和が続いており、社会活動はほぼコロナ感染以前に戻りつつあります。大学は今後も各方面からの情報や学内状況を注視しながら、緩和と規制のバランスを上手く図って行きたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願い致します。

さて、このMIC通信ですが、今回はMIU通信になる可能性が大いだと思います。Miyazaki International CollegeからMiyazaki International Universityと名称を変更致します。現在、本学には国際教養学部と教育学部の二つの学部があり、必ずしもCollege（単科大学）では無いことに加え、2023年4月から、大学院修士課程が始まることで、University（総合大学）が適当だろうと考えられるからです。大学院修士課程の定員は5名ですが、今回、志願者が予想以上に多く12名となりました。全員を合格させる訳にもいきませんので、大変申し訳なく思っている次第です。

ところで、今年の卒業予定者の就職内定・確定状況ですが、教員関係では、小学校26名、中学英語4名、高校英語1名、金融・銀行関係に16名、公務員4名、大学院進学6名、他、就職率やその内容ともに非常にハイレベルな状況になっており、嬉しい限りです。学生のみならず教職員全体の頑張りのおかげと思っています。

近年、文科省では、他大学と連携して、連携大学の講義が受けられる機会を学生に提供できる仕組みを盛んに推奨しています。文科省から募集があったSPARC事業では宮崎大学との連携が採択され、世界展開力強化事業では関西国際大学との連携が採択されました。今後、他大学と連携した新たな教育の導入につながっていくことが期待されます。今後も、様々な取り組みと改革を実行していきますので、皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

新年度オリエンテーションのご案内（新2・3・4年生対象）

新年度を迎えるにあたり、オリエンテーションを実施します。新2・3・4年生が対象です。全員参加してください。

日にち：4月7日（金）午前
内 容：学長挨拶、新任者紹介、諸連絡等
※各学部に分かれて実施予定です。詳細については学内メールで連絡します。

●クラブミーティングも4月7日(金) 午後に行いますので、活動申請を予定している新部長・副部長は必ず出席をお願いします。新しいサークルを立ち上げたい方もご参加下さい。新年度登録、クラブフェアの説明をします。

学生食堂再開のお知らせ

2020年度より学生食堂では、弁当販売のみの営業となっておりますが、2023年4月より食事の提供を再開します。日替わりランチ（480円）、カレー（360円）、チャーハン（360円）、うどん・そば（280円）等のメニューがありますので、お楽しみに！

オープン日：2023年4月4日（火） ※4月6日（木）は入学式のため休業します。



本紙コンテンツ

- ◆学長あいさつ
- ◆グローバル教育センター
- ◆各種お知らせ
- ◆新年度オリエンテーション案内
- ◆キャリア教育センター
- ◆学生部
- ◆学生食堂再開のお知らせ
- ◆学生教職支援センター
- ◆宮崎学園図書館
- ◆国際教養学部
- ◆地域連携センター
- ◆教務部
- ◆教育学部
- ◆入試広報部
- ◆前期学費の納入について
- ◆駐車場使用申込について

お問い合わせ

発行:宮崎国際大学 学生部
〒889-1605
宮崎県宮崎市清武町加納丙
1405番地
TEL 0985-85-0165

国際教養学部

リベラル・アーツについての重要性

コロナによるパンデミックにより厳しい時期となりました。学び、社交、日常の生活において新しい方法に適応しなければなりませんでしたがこの困難な時期を乗り越えた後には多くの新たな可能性が開けることを覚えておかなければいけません。ここで、ぜひリベラル・アーツ教育の重要性についてあえて触れておきたいと思います。リベラル・アーツ教育課程では、クリティカル・シンキング、創造性、柔軟性など、現代の急速に変化する社会において必須であるこれらのスキルを向上させる、幅広い科目が提供されています。パンデミックにより日常が多く面で妨げられる中、リベラル・アーツ教育では迅速な対応力と学習力を学生に涵養（かんよう）します。リベラル・アーツ分野を学んだ学生は満遍ない分野の教育をバランス良く受けているため、多様なキャリアの選択肢が可能となり多角的な観点から複雑な問題にも取り組むことができます。

将来について不安を抱えている学生も多いと思いますが、固定された枠の外に出て考えることやイノベーションが必要になったのと同時に、パンデミックにより新しい産業やキャリアも生まれたのも事実です。つまり、自身の情熱を追求し世界を変えていくための機会も新しく増えたのです。すでに述べたように、MICで学んだリベラル・アーツ教育を通じて必要なスキルと知識が授けられ、予想もしなかった困難な状況にも立ち向かえる適応力、想像力そして強靭さが皆さんには備わっているはずで、ぜひ引き続き目標に向かって前進してください。達成した結果だけが成功では決してありません。その過程を経て、どのような人物にあなたになったかも成功の一部です。学業に励み、努力し、自分を信じ続けてください。素晴らしい成果を出す可能性を持った皆さんが、大学生活を通じて将来どのような未来を実現させるか、楽しみに応援しています。



国際教養学部 学部長
アンデルソン・パソス
Anderson Passos

教育学部

教育学部では令和5年度より必修単位を増やします！

教育学部は、教員養成課程として、卒業単位128単位と設定し、小学校・幼稚園の免許・保育士資格を取得するための必要な教科・教育法・教育実習等を必修、必修選択、選択科目として配置しています。学生は、これらの科目を自分の自由裁量で選択・履修します。

さて、最近、学生によっては入学後「不得意科目」を積極的に履修しなくなっています。その結果、卒業後の受け入れ先等の教育現場からのコメントとして、「基礎学力の充実」を強く要請されるようになってきました。教員となった卒業生のアンケートでも不得意科目を大学時代にもう少し勉強しておけばよかったとの後悔のコメントが散見されました。教育学部では、教員になろうとする学生は当然のことながら、自分にとって不得意科目であれば大学が準備している補習等を受講し、さらに該当する科目が選択必修あるいは選択科目に関わらず、履修するように指導してきました。しかし、ここ数年かなりの学生が選択履修しないようになってきました。不得意科目を抱えたまま教員になった場合、言うまでもなく小学校等では子どもの授業等で支障がでます(教員になった卒業生の中で実際に支障が出ています)。「令和5年度から、小学校教諭1種免許状を取得する場合は、主要4科目(国語Ⅰ・Ⅱ、社会Ⅰ・Ⅱ、理科Ⅰ・Ⅱ、算数Ⅰ・Ⅱ)すべてを必修化する他、その他幾つかの科目も必修化します。卒業単位128単位以上必要ですが、合計109単位を必修にすることになります(卒業単位数の85%が必修)。学生は本学部を卒業して教員となった場合には、「基礎学力に不安のない、高い教育実践力を持った教員」となり、小学校等の教育現場で働いてくれることを期待しています。



教育学部 学部長
福田 亘博
Nobuhiro Fukuda

グローバル教育センター

2年生の半数強の39人が海外研修に参加しました！

新型コロナウイルスにより、過去2年間は渡航を伴う海外研修は実施できませんでしたが、令和4年度は、日本を含め、世界のコロナ感染状況が落ち着いてきたことから、何とか実施することが出来ました。しかし、コロナに対する不安と歴史的円安の影響から、海外へ行くことを決めた学生は2年生の半数強の39人で、5ヶ国(アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、イギリス)、11大学(Sonoma State University, California State University San Marcos, San Diego State University, Arizona State University, University Of Victoria, Simon Fraser University, Thompson Rivers University, University of New Brunswick, University of Wollongong, University of Otago, And Canterbury Christ Church University)に分かれて渡航しました。

派遣国により入国制限が異なったこともあり、様々な手続きに翻弄されながらの日本出国、現地到着となりましたが、全員、約4ヶ月の海外生活を満喫し、今は全員無事に帰国しています。研修先大学では、多くの学生が授業の他、様々なイベントやボランティア活動に参加し、また、小旅行などを通し、それぞれの国・地域の人々及び文化について理解を深めました。学内研修に参加した学生(29人)はアメリカ組とカナダ組に分かれ、昨年度同様、海外提携先大学のオンライン授業を週に2回受講しました。

限定的ながらも「海外研修」を体験したことによる異文化理解の深化は、3年次からの専門教育へ臨むにあたっての大きな弾みになったものと思います。

キャリア教育センター

今年度の就職内定率とお知らせについて

国際教養学部4年生は、製造業(宮崎日機装・児湯食鳥等)、情報通信業(デル・テクノロジーズ等)、運輸業(ANA福岡空港(GS)・宮崎交通(GS)、羽田空港グローバルサービス等)、卸売業(南国殖産等)、小売業(コスモス薬品・宮崎トヨタ自動車等)、金融業(山口ファイナンシャルグループ・宮崎銀行・宮崎太陽銀行等)、不動産業(ハウコム・大興不動産等)、宿泊業(フェニックスリゾート・リゾートトラスト等)、教育業(タップカンパニー)、サービス業(宮崎県森林組合連合会・東武トップツアーズ・ワールドインテック等)など様々な企業へ就職が内定しており、宮崎県・熊本県・福岡市公立中学校教員(英語)、日南学園高校(英語)、宮崎県警察(警察官)、並びに宮崎国際大学・宮崎大学・鳴門教育大学大学院にも合格しています。

教育学部4年生は、宮崎県・熊本県・鹿児島県公立小学校教員、並びに宮崎市(一般事務)・都城市(幼・保)・延岡市(幼・保)に合格しており、県内外の認定こども園・保育園・福祉施設等にも就職が内定しています。

企業へ就職希望の3年生は、いよいよ3月から本格的な就職活動が始まることになります。これまでキャリアデザイン科目やキャリアサポートプログラムで学んできた企業研究やエントリーシート作成、面接試験対策などを活かして就職試験に臨んで欲しいと思います。

11月から1月にかけて実施してきた国際教養学部・教育学部3年生に対する第1回目の個別面談に引き続き、4月に入り第2回目の個別面談を実施し、就職活動状況の確認や就職支援などを行います。春休み期間中も進路や就職活動に関する相談を受け付けていますので希望者は連絡してください。

学生教職支援センター

「教育実習報告会」や「4年生に学ぶ」の時間の充実を目指して

学生教職支援センターでは、「教育実習報告会」や「4年生に学ぶ」の機会を通して、教育実習や教員採用試験に対する学生の意欲を喚起しています。

本年度は国際教養学部教職課程学生の報告会・教員採用試験対策を更に充実させました。具体的には、実習報告会の中で、実習中に行った研究授業を行い、指導案の書き方とともに、導入・展開などの進め方を紹介する時間を設けました。次年度実習を控えた3年生は真剣に学び、教材教具の使い方や生徒への発問などに対して積極的に質問し、実習に対する熱意を感じました。また、「4年生に学ぶ」では、4年生が教員採用試験一次及び二次対策に対して、1年・2年生から計画的に学びを深める必要性を説いていました。本年度も多くの現役合格を出した4年生の経験紹介やメッセージは後輩の心に響くものとなりました。



地域連携センター

地域連携センターでは、一般市民との交流や若い世代への学びの機会を提供し続けています。

後期では、宮崎県内の高校生の英語力や国際感覚を養うための研修に加え、一般市民を対象とした人権フォーラムと公開講座を開催しました。人権フォーラムでは、日本における難民の現状を明らかにし、認識を高めることで日本における人権の課題を考慮し、公開講座では、本学学長を始め、国際教養学部と教育学部の多様な教員の専門性を活かした幅広いテーマを取り上げました。公開講座は特に好評であり、次年度もさらに多くの講座を提供する予定です。また、3月には、全県の高校生を対象とする第6回「羽ばたけ！グローバルリーダーシップセミナー」を開催します。今年度のテーマは「国際機関におけるグローバルリーダーシップ」であり、セミナーに参加する高校生は、国連や国際金融機関、JICAなどの国際機関で輝かしいキャリアを持つプロフェッショナルから学ぶことができます。一部の参加者は、今年夏に開催するタイ王国のスタディツアーにも参加できます。きっと貴重な体験になると思います。



入試広報部

見たことのない景色を見て、見たことのない自分に出会う

今年度、本学はTHE世界大学ランキング日本版国際性分野では全国4位となりました。

本学の国際的な教育環境は全国でもトップレベルです。また、教育学部は今年度の教員採用試験(小学校教諭)において、現役合格率76.7%(30名中名合格)という素晴らしい結果を出しました。

「見たことのない景色を見て、見たことのない自分に出会う」、これは本学卒業生の言葉です。高校までとは全く異なる教育環境で、クリティカルシンキング、アクティブラーニングによる深い学び、充実した対策講座、少人数だからこそ丁寧な指導など、本学ではこれまで経験したことのない様々な体験ができ、「見たことのない自分」に成長することができます。入試広報部では、年8回高校生対象の説明会「週末キャンパス見学会&相談会」を実施していますが、昨年よりも多くの方に参加いただいています。充実した教育環境があることに加え、在学生・卒業生の皆さんの活躍や成長の様子が伝わっていると感じます。これからも今以上に積極的に広報活動を行い、県外も含めてより多くの高校生が本学を目指してくれるよう努めてまいります。